

歴史書 通信

5

2018 No. 237

歴史学の方法論 [和崎光太郎]

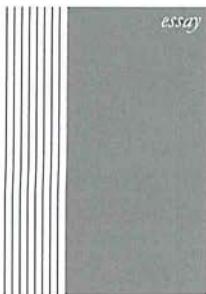
歴史書新刊ニュース (3・4月)

歴史書以外の人文社会図書新刊案内 (3・4月)

2018年歴史書ベ스트フェア出品/
参加書店一覧



歴史書懇話会



歴史学の方法論

——学校の「威力」を論じることを通して——

和崎 光太郎

(京都市学校歴史博物館学芸員)

日本の近代化、特に人間の内面的な近代化（時間を守る、個人として自らを把握する、近代概念で考える、など）を推し進めた装置として、学校をあげることにおおかた異存はないだろう。

近代の産物である一斉授業が実施されるがゆえに（他にも理由はあるが）、身分・属性に関係なく皆が定時に学校に行く。その結果、子どもだけでなくその家族までもが、時間を意識して自らをコントロールするようになる。明治政府の要望に素直に応えれば応えるほど「（擬）洋風」となった校舎の中で、ふだんは木造の我が家で座敷に座っている子どもが、椅子に座りテーブルで学ぶ。このような新奇な（擬）洋式空間で身体が形作られていく。そこでの「教育」とは、手習塾（寺子屋）での学びのような身分と属性によって異なっていた内容の習熟ではなく、皆が同じ目標のもとに同じようなことを一斉授業で教えられることである（とはいってもこの様子が地方にまで広がるのは大正期だが）。

そもそも「教育」なる概念が、今

日のような意味で用いられるようになるのは明治 10（1877）年頃からであり、それまでの明治 1 桁の時代にあっては、「教育」はまだ多くの人々にとってはなじみのない概念だった。明治 5（1872）年の学制前文では「教育」は一度も用いられておらず、同年から翌年にかけて出された 200 章を超える大部の学制本文においても「教育」が登場するのは 4 か所だけである。ところが、7 年後の明治 12（1879）年には教育令が出される。

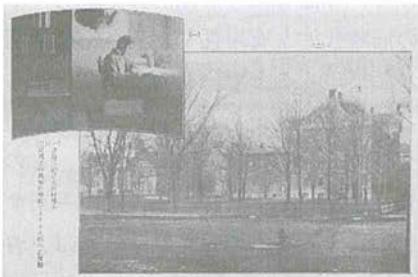
近代学校が日本に登場し、教育を行う場として日本独特の発展をみせたことの、人間の内面に与えた影響は、單に学校という近代化装置内部でのことだけによるのではない。

例えば明治 30 年代には、下校（という学校を上に見る行為）の後も学校的価値観での人間形成を子どもに推し進めるために、教員が親への働きかけを進め始めた。その結果、明治前期に home の訳語として誕生していた「家庭」が、学校から離れたところで学校

的価値観を教育する空間として、都市部で定着し始めた。

この「家庭」なる極めて近代的な概念の生成と広がりに大きく貢献したのが、教育雑誌である。

教育雑誌は、明治 10 年代には教員や教育行政関係者など限られた読者しか有していなかったが、明治 20 年代から 30 年代にかけて広く読まれるようになっていき、読者対象として親、生徒、生徒になりたい者を念頭に置いた記事を掲載する雑誌が登場してきた。『少年世界』『中学世界』や『成



明治 39 (1906) 年 9 月発行の『中学世界定期増刊 青年修養百談』(筆者所蔵)の扉写真。コロンビア大学で Ph.D. を、次いで理学博士号を受けられた宇宙物理学者・田村哲の書斎での姿と、田村が単身渡米後に最初に学んだアイオワ大学の写真が採用されている。

功』、『児童研究』などがそれに該当する。この教育雑誌ブームと持ちつ持たれつの関係で、明治 30 年代前半（1900 年頃）には、後に「進学」と呼ばれるようになる行為に支えられたピラミッド型学校階梯（頂点は帝国大学）が一部の男性エリート予備軍の世界で整備されていく。同時に、この階梯から排除された女性に対しては、女性を良妻

賢母という名の間接的な（=夫と息子を媒介した）国家貢献要員、つまり男性とは異なる意味での「国民」とすべく高等女学校が制度化され、雑誌『女学世界』が明治 34 (1901) 年に創刊された。

このように、明治 30 年代において近代的な学校制度が一応整い、そこで学ぶ者が増え、さらに教育雑誌を通して教育的な概念を学校に通わない者までもが獲得し、内面化していくということは、歴史学においてこれまでほとんど見向きもされてこなかった。

しかし、我々が語る歴史が人間の人による人間のためのものである以上、近代化を論じるにあたっても人間そのものを問わなければならないという当然すぎてあまり想起されることのない大前提からは逃れようがない。つまりところ、近代人育成装置として学校なるものが登場したことによるあらゆるもの変化、いわば学校の「威力」——そこには当然ながら天皇制や軍隊といった戦後歴史学が問い合わせてきた重要なファクターも大いに関係してくる——を抜きにして日本の近代化を語ることはできないのではなかろうか。例えば、明治末期から大正期にかけて台頭してきた地方の「青年」たちは、確かに中等教育の学校から排除された者ではあるが、一方では規範レベルで学校的価値観に包摂された男性でもあったのではなかろうか。

明治 20 年代から 30 年代にかけてのピラミッド型学校階梯の整備、特に中等教育の飛躍的発展は、教育機会の拡大として賞賛され得る（それと表裏一体のこととして教育機会の拡大が不十分だという批判も当然ある）。一方この整備は、学校を震源地として拡大していく教育なるものによって 10 代後半から 20 代前半にかけての男性が包囲されていった現象とも考え得るのだが、このような視点からの歴史研究は、これまでほとんどなされてこなかった。

以上のような思いをいただきながら、夜な夜な博士論文を執筆し、さらに加筆修正して、昨年 3 月にミネルヴァ書房から『明治の〈青年〉——立志・修養・煩悶——』（以下、拙著）を上梓した。ターゲットは、〈青年〉という概念であり、その生成と展開を追うことで、明治 20 年代・30 年代における学校の「威力」を炙り出す作業を試みた。

では、私はどのような方法で歴史を論じたのか。こればかりはここで許された紙幅で説明する自信がない。拙著では端的に、

ある概念について、「昔からあった普遍的な概念ではなく、近代の産物である」と単に指摘しただけでは、その概念をなんら説明したことにはならない（8 頁）

と断じた上で、自ら立てた問いに答えるためには何をすべきかを表明している。

つまり、私にとっての歴史学の方法は、明らかにしたいものが先にあり、その目的に従ってもがく、その「もがき」そのものである。ゆえに、ターゲットや問い合わせれば、方法も変わるだろう。拙著での研究方法は、おそらく汎用性はまったくない。

教育による包囲とも言うべき現象が生み出した、変容を経ながらも現在まで続いている知（思考）の枠組みの正体を、可能な限り実証的に把握し、その同時代的な有用性や便利さを解き明かしていくことで、初めて乗り越えられるような壁がある。時代の閉塞感（いつの時代にもあるのだろうが）は、この知（思考）の枠組みとそれが生み出す「壁」によってもたらされる。私は、〈青年〉という概念を手掛かりに、この「壁」が可視的に姿を現わし、その「壁」をつくっている知（思考）の枠組みが我々の中に多々潜んでいることが明確になるような研究を拙著で試みたつもりである。

思い立った最初は、「無理難題かなあ」と半信半疑で、自分でも何をやっているのかよくわからない期間がやたら長かった。この半信半疑が消えていくプロセスはここでは語りきれないくらい複雑なものだったが、一つ断言できることは、私は先行研究にたいへん恵まれ、助けられた。このことが研究

を進める上でのブレイクスルーになったことは間違いない。「研究とは孤独だがチームプレーでもある」(拙著308頁)ことを実感しつつ、夜な夜な先行研究と「対話」し、そこから「ご教示」いただくことが多々あった。それがなければ、私は博士学位を授与されるどころか、もうとっくに研究を放棄していただろう。私は運が良い。拙著でお世話になった、教育史学・教育学・歴史学・社会学・メディア学・文学・政治学などの先達へは、感謝の言葉もない。

拙著での試みが成功したのかどうかは、筆者である私には判断できないし、判断する資格もない。読者に委ねるしかない。あるいは、こう言われるかもしれない。「この研究の先には、いったい何が待っていて、どこに行きたいのか」と。この問い合わせに対する答えは、明快である。「この先にどのような乗り越えるべき壁があるのかを見通すための研究をしたのだ」。

ただし、見通すためにはまだまだ研究が質・量ともに圧倒的に不足している。なんとか30代最後の年に拙著を刊行できたことは幸いだったが、「壁」の発見となるような研究を残りの人生でどこまでできるのか、という焦りもある。〈学校〉なるものの正体を、観念論的にではなく、実証のみによってでもなく、まずは自分で納得のいく「わかる」という実感を持てる世界で、解き明かしていきたい。その行き着いた先で、最終的に副産物として生まれる(かもしれない)ものが、私にとっての歴史学の方法論である。

〈表紙写真〉明治9(1876)年築の、擬洋風小学校建築(講堂)。昭和3(1928)年までつかわれた(現存せず)。この小学校は現在の京都市中心部に位置し、平成7(1995)年に閉校した後は京都国際マンガミュージアムになっている。(写真は京都市学校歴史博物館提供)

新刊ニュース

3・4月の新刊 *発売予定のものもあります

歴史一般

事典／年表・地図／歴史学・補助学

石橋秀雄・松浦高嶺・木村靖二他編

世界史大年表 増補版（CD付き）

B5判 832頁 30,000円

山川出版社 [4月刊]

978-4-634-13001-2

人類の始まりから今日まで、壮大な世界史を多角的にとらえた本格的大年表。検索機能を備えたデータCD-ROM付き。

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

佐藤信編

水中遺跡の歴史学

A5判 260頁 4,000円

山川出版社 [3月刊]

978-4-634-52366-1

日本や世界における水中遺跡の調査・研究・保護の現状を解説し、保存・整備・活用など今後の諸課題について考察。歴史学での位置付けを探る。

福田友之著

東北北部先史文化の考古学

B5判 300頁 11,000円

同成社 [4月刊]

978-4-88621-779-0

北海道との先史文化交流や東北各地の縄文文化の諸相を丹念に追究。ヒスイ製玉類や、おとし穴遺構、動植物意匠遺物等の集成5編収録。

渡邊邦雄著

墓制にみる古代社会の変容

B5判 298頁 9,000円

同成社 [4月刊]

978-4-88621-782-0

律令国家期の墓制の変遷を多角的視座から緻密に追究。墓制が果たした政治的意義を解明し、古代から中世への時代の転換期を規定する。

宇野隆夫編

モノと技術の古代史 木器編

A5判 292頁 6,000円

吉川弘文館 [4月刊]

978-4-642-01739-8

日本列島では森林資源を様々な道具に作り変えてきた。用途論から脱して木器研究を考古学の技術史研究の立場から検討。新地平を開く。

下垣仁志著

古墳時代の国家形成

A5判 302頁 6,800円

吉川弘文館 [3月刊]

978-4-642-09352-1

国内外の諸理論と最新の考古資料を駆使して、古墳時代における日本列島の古代国家形成プロセスを、多角的・具体的に解き明かす。

清家 章著

埋葬からみた古墳時代

女性・親族・王權（歴史文化ライブラリー465）

四六判 288頁 1,800円

吉川弘文館 [4月刊]

978-4-642-05865-0

古墳群の発掘成果から埋葬ルール（埋葬原理）を抽出し、女性首長の活躍や王位継承のあり方を分析。「王朝交替論」にも一石を投じる。

ソロモン・ウォルコフ著/亀山郁夫・梅津紀雄・前田和泉・古川哲訟

ショスタコーヴィチとスターイン

四六判 540頁 5,800円

慶應義塾大学出版会 [3月刊]

978-4-7664-2499-7

天才芸術家と独裁者の奇妙な「共犯」関係を暴きだす。肅清の嵐の中で全体主義と芸術の相克を乗り越えようとしたロシア芸術家たちの戦い。

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

国立歴史民俗博物館編

わくわく！探検 れきはく日本の歴史 5

民俗

B5判 86頁 1,000円

吉川弘文館 [3月刊]

小中学生が日本の歴史と文化を楽しく学べる新シリーズ。民俗の展示をもとにしたストーリー性重視の構成で、大人も楽しめる！

978-4-642-06825-3

古田史学の会編

発見された倭京—太宰府都城と官道

古代に真実を求めて（古田史学論集第二十一集）

A5判 232頁 2,600円

明石書店 [3月刊]

考古学的発見により姿を現しつつある巨大防衛施設を備えた都市。大和一元史觀では説明できない歴史の真実に九州王朝説から迫る。

978-4-7503-4649-6

榎本福寿著

古代神話の文献学

A5判 1112頁 30,000円

培書房 [4月刊]

日本書紀の神代紀と神武紀を詳細に分析、その全体像を解明、さらに古事記と比較検討し、記紀の成立をめぐる関係について新たな解釈を導く。

978-4-8273-0130-4

佐藤 信・小口雅史編

古代史料を読む 上 律令国家篇

A5判 320頁 3,800円

同成社 [4月刊]

日本古代史を学ぶ際に必要な代表的史料をとりあげ、その特徴や読み解き方を第一線の研究者が平易に紹介する、基礎的理説のための入門書。

978-4-88621-783-7

倉本一宏編

現代語訳 小右記 6

三条天皇の信任

四六判 368頁 3,000円

吉川弘文館 [4月刊]

眼病を発した三条天皇に道長らは退位を要求。実質は天皇に頼みとされるが彼には悩みの種であった。日記にも緊迫した情勢が記される。

978-4-642-01821-0

木下 啓著

室町幕府の外様衆と奉公衆

(中世史選書24)

A5判 368頁 8,000円

同成社 [4月刊]

足利将军直轄の軍事力として、室町幕府の支柱となった外様衆・奉公衆の構成や役割を、政変や動乱に伴う変動を踏まえて詳細に論述。

978-4-88621-790-5

似鳥雄一著

中世の莊園経営と惣村

(中世史選書24)

A5判 384頁 11,000円

吉川弘文館 [4月刊]

土地の収益や金銭の出納など、帳簿データから經營実態に迫り、莊園・惣村の地理・領域的な構造を解明。社会構造の変容を究明する。

978-4-642-02945-2

須藤茂樹著

武田親類衆と武田氏権力

(戦国史研究叢書16)

A5判 392頁 8,600円

岩田書院 [3月刊]

穴山氏をはじめとする親類衆の動向を中心に、訴訟・外交・宗教など、さまざまな観点から、その支配と権力構造を考察する。

978-4-86602-025-9

野村 玄著

豊國大明神の誕生

変えられた秀吉の遺言（中世から近世へ）

四六判 292頁 1,800円

平凡社 [3月刊]

慶長3年の秀吉死後、贈られた神号は遺言と違い、改変されたという。秀吉の神格をめぐる歴史的意味の変遷について最新研究から迫る。

978-4-582-47738-2

藤田達生著

織田信長

近代の胎動（日本史リブレット人 45）

A5変型判 120頁 800円

山川出版社 [3月刊]

本能寺の変の真相を再検討することで、信長による天下統一の思想や政策、派閥抗争、足利義昭との対立などを考察し、信長政権の本質に迫る。

978-4-634-54845-9

伊能秀明著

官中秘策

近世法制実務史料（岩田書院史料叢刊11）

A5判 398頁 8,800円

岩田書院 [3月刊]

西山元文が、古文書・古記録・諸法令などを類別編集して、安永4年に成稿。幕府政治諸役所（官中）の実務に有用な秘書（秘策）。

978-4-86602-031-0

矢田俊文著

近世の巨大地震

（歴史文化ライブラリー463）

四六判 256頁 1,800円

吉川弘文館 [3月刊]

幕府への被害報告や人々の日記、俳句や紀行文から、津波や家屋倒壊の被害状況、死者者数などを復元。未来への備えを拓くことに挑む。

978-4-642-05863-6

関根達人著

墓石が語る江戸時代

大名・庶民の墓事情（歴史文化ライブラリー464）

四六判 256頁 1,800円

吉川弘文館 [3月刊]

墓石から、いかなる社会が見えてくるのか。丹念なフィールドワークから、歴史災害、身分制社会の在り方、海運による交流などに迫る。

978-4-642-05864-3

柴田 純著

考える江戸の人々

自立する生き方をさぐる

四六判 256頁 2,500円

吉川弘文館 [3月刊]

「平和」が実現した江戸時代。大名の責任意識から庶民の寺子屋教育まで、考え、工夫して行動することが肯定されていく過程を描く。

978-4-642-08332-4

万波寿子著

近世仏書の文化史

西本願寺教団の出版メディア

A5判 440頁 7,500円

法藏館 [3月刊]

近世の出版物のうち、大多数を占めていた仏書を題材に、近世仏教の実像や当時の出版制度、本屋と寺院の関係などを明らかにする。

978-4-8318-6238-9

高塙利彦編

日本近世史研究と歴史教育

A5判 224頁 2,000円

山川出版社 [4月刊]

歴史学研究の成果と教科書記述との関連、それらをふまえた授業の構想など、日本近世史を題材に歴史学研究と歴史教育の接続を考える。

978-4-634-59104-2

松尾正人編

近代日本成立期の研究 政治・外交編

A5判 376頁 7,800円

岩田書院 [3月刊]

編者の中央大学退職を機に、論集2冊刊行。本編には、「中央政治とその周辺」「幕末・明治の外交」の2部に分け、14編を収録。

978-4-86602-026-6

松尾正人編

近代日本成立期の研究 地域編

A5判 284頁 6,000円

岩田書院 [3月刊]

編者の中央大学退職を機に、論集2冊刊行。本編には、「幕末維新期の地域」「地域の近代」に分け、10編を収録。

978-4-86602-027-3

小島 肇著

儒教が支えた明治維新

犀の教室

四六判 276頁 1,900円

晶文社 [17年11月刊]

日本では教養として朱子学が受け継がれ、明治維新を支える思想となった。東アジアの中の日本を俯瞰して論じる、新しい明治維新論。

978-4-7949-7033-6

中西直樹・那須英勝・嵩 满也編

仏教英書伝道のあけぼの

（龍谷大学アジア仏教文化研究叢書）

A5判 418頁 6,500円

法藏館 [2月刊]

明治期に刊行された仏教英書のうち、先駆的な位置にある4点の復刻と解説を収録。近代仏教の国際的なネットワークを解明する。

978-4-8318-5553-4

赤松徹眞編著

『反省会雑誌』とその周辺

（近代日本の仏教ジャーナリズム 第1巻）

A5判 384頁 6,000円

法藏館 [2月刊]

近代仏教史を語る上で重要な仏教雑誌を精選し、総目録と解題を収録。近代仏教史料を探索する際にも有益な1冊！

978-4-8318-5571-8

羽賀祥二編 近代日本の歴史意識 A 5 判 320 頁 11,000 円	吉川弘文館 [3月刊]	記憶と「記念」に関する問題、歴史意識や郷土意識を論じた12論考を編成。近現代日本において「歴史」が果たした役割を考察する。 978-4-642-03874-4
羽賀祥二編 近代日本の地域と文化 A 5 判 296 頁 11,000 円	吉川弘文館 [3月刊]	東海地域での神仏分離、歴史書と歴史学、地域社会の動向、行政や都市開発問題などを論じた11論考を編成。諸相を浮き彫りにする。 978-4-642-03875-1
永井 和著 西園寺公望 政党政治の元老（日本史リブレット人 90） A 5 変型判 104 頁 800 円	山川出版社 [3月刊]	明治・大正・昭和の三時代を生き抜いた政治家西園寺公望がなぜ「最後の元老」となったのか、なぜ日本で政党政治が定着できたのかを考える。 978-4-634-54890-9
布川 弘著 〈近代都市〉広島の形成 A 5 判 294 頁 10,000 円	吉川弘文館 [3月刊]	軍都という歴史的現実を受け入れつつ自らの暮らしを創意工夫し、喜怒哀楽を享受していた人々の視線に立って考察する。 978-4-642-03873-7
川満 彰著 陸軍中野学校と沖縄戦 知られざる少年兵「護郷隊」（歴史文化ライブラリー 466） 四六判 240 頁 1,700 円	吉川弘文館 [4月刊]	激戦地沖縄に42名の陸軍中野学校出身者が潜伏。そのもとに集められた「護郷隊」の少年兵や住民は、いかに戦争に巻き込まれたのか。 978-4-642-05866-7
鳥海 靖 アナウンサーが読む もういちど読む山川 日本近代史（講DVDつき） A 5 判 276 頁 2,200 円	山川出版社 [4月刊]	「もういちど読む山川日本近代史」をアナウンサーの土居壮さんが朗読したCD付き。聞く教養書。開国から太平洋戦争に至る歩みを叙述。 978-4-634-12003-7
森田一著・福永文夫・井上正也編 大平正芳秘書官日記 A 5 判 784 頁 18,000 円	東京堂出版 [4月刊]	故大平正芳首相の秘書官を務めた森田一氏の日記を翻刻。1970年代における政治・外交史の重要な資料。 978-4-490-20984-6
雨宮昭一著 協同主義とポスト戦後システム 四六判 280 頁 2,600 円	有志舎 [3月刊]	新自由主義の時代から新しい協同主義の時代へ！旧い体制を越え、歴史理論と地域の現実の両面から新たなオルタナティブを指示す。 978-4-908672-20-0
加藤博文・若園雄志郎編 いま学ぶ アイヌ民族の歴史 B 5 判 164 頁 2,000 円	山川出版社 [4月刊]	古代・中世・近世・近代そして現代と時代ごとに北海道島と先住民族であるアイヌの歴史をまとめた1冊。日本史の授業に役立つテキスト。 978-4-634-59103-5
村井章介監修・海津 一朗・稻生 淳編著 世界史とつながる日本史 紀伊半島からの視座 四六判 384 頁 3,800 円	ミネルヴァ書房 [4月刊]	徐福伝説から第五福竜丸事件まで、紀伊半島を舞台にした地域から世界史を考えためのケーススタディ。 978-4-623-08240-7

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

南川高志編

B.C.220年 帝国と世界史の誕生

(歴史の転換期①)

四六判 280頁 3,500円

山川出版社 [4月刊]

世界的古代帝国形成の時代について、西はローマ帝国、東は秦漢帝国を取り上げ、同時代の人が「帝国」という現実にいかに対応したかをみる。

978-4-634-44501-7

石坂尚武著

苦難と心性

イタリア・ルネサンス期の黒死病

A5判 540頁 8,400円

刀水書房 [3月刊]

ライフワーク『イタリアの黒死病関係史料集』作成の中で、「苦難」＝黒死病への反応から、当時の人々の内面を20年近く探し続けた心性史研究の集大成。

978-4-88708-441-4

湯浅邦弘編著

教養としての中国古典

A5判 368頁 3,000円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

中国の主要な古典を最新の研究成果も踏まえて概説。各章に「名文読解」の節を設け、原典にも親しみながら学べるよう工夫された入門書。

978-4-623-08275-9

小竹裕一著

韓国ふしき旅

四六判 205頁 1,800円

法藏館 [4月刊]

ソウルや釜山、済州島など、旅人として、異邦人として体当たりで見つめた韓国の文化を紹介。笑いと涙の紀行エッセイ！

978-4-8318-5648-7

秋田茂編著

「大分岐」を超えて

アジアからみた19世紀論再考

A5判 320頁 5,500円

ミネルヴァ書房 [3月刊]

近代アジアの経済発展をグローバルヒストリーの観点から再考し、ボメランツの「大分岐」論を相対化、新たな世界史像を提示する。

978-4-623-08225-4

八尾師誠訳

イランの歴史 イラン・イスラーム共和国高校歴史教科書

(世界の歴史教科書シリーズ45)

A5判 488頁 5,000円

明石書店 [4月刊]

イランの中等教育課程の歴史教科書。各時代の指導者の系譜、政権の交代、社会・経済・文化状況などに関連して詳述する。

978-4-7503-4664-9

小松久男・荒川正晴・岡洋樹編

中央ユーラシア史研究入門

四六判 420頁 3,000円

山川出版社 [4月刊]

中国からヴォルガ・ウラル・コーカサスまで広汎な中央ユーラシア地域を時代・地域別に解説。ソ連解体後、自立した国々の最新の研究も満載。

978-4-634-64087-0

趙景達編

儒教の政治理想・文化と東アジアの近代

A5判 330頁 5,600円

有志舎 [3月刊]

東アジア4国では、近代国民国家形成にあたって儒教はいかなる影響を与え、その現実はどのようなものであったのか？

978-4-908672-21-7

松浦義弘著

ロベスピエール

世論を支配した革命家（世界史リブレット人61）

A5変型判 112頁 800円

山川出版社 [3月刊]

フランス革命以来、常に賛否両論を巻き起こし、恐怖政治と結びつけられてきたロベスピエールの生涯をたどり、その言説の影響を考察する。

978-4-634-35061-8

花田吉隆著

イスラムが問う明日の日本

近代の中に忘れてきたもの

四六判 200頁 2,200円

刀水書房 [4月刊]

南アフリカ、イスラム、ドイツ、東ティモールと転任。外交官の筆者が改めてイスラムについて語る。日本の進む道しるべとしてのイスラム「開放型共同体」。

978-4-88708-440-7

カロリナ・ランツコロスカ著

独ソ占領下のポーランドに生きて

祖国の誇りを貢いた女性の抵抗の記録（世界人権問題叢書）

四六判 456 頁 5,500 円

明石書店 [3月刊]

第二次世界大戦中のポーランドで、ソ連侵攻から逃れ、その後ナチスドイツの強制収容所に収容された著者の体験を綴った回想録。

978-4-7503-4655-7

文化史文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／
教育・科学・文学・美術・芸術／社会生活

永田陽一著

日系人戦時収容所のベースボール

ハーブ栗間の綴いた日々

四六判 215 頁 2,000 円

刀水書房 [3月刊]

強制立ち退きでアメリカ南部の収容所に送られた若者たち。屈辱の鉄条網のなかで生き延びるための野球に熱中、数千の観衆を前に強豪チームを迎え撃つ。

978-4-88708-439-1

田戸大智著

中世東密教学形成論

A 5 判 468 頁 8,000 円

法藏館 [3月刊]

東台両密の比較から、東密教学の形成と展開について新知見を提示。禅や南都の教学との思想的連関にも照射した労作。

978-4-8318-6372-0

楠 淳證編

南都学・北嶺学の世界

法会と仏道

A 5 判 284 頁 4,500 円

法藏館 [3月刊]

人文学の様々な分野から「法会と仏道」の意義を明かし、東日本大震災での佛教者の活動を通して、「仏道」の現代における意義を問う。

978-4-8318-6374-4

夏目琢史著

「名著」から読み解く日本社会史

古代から現代まで

四六判 350 頁 3,500 円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

前古代から近代初頭までの「名著」を読み解き、現代の日本社会を歴史学的視点で捉える視座を提供する。

978-4-623-08128-8

田中ひかる編著

社会運動のグローバル・ヒストリー

共鳴する人と思想

A 5 判 298 頁 3,000 円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

19世紀から現代までの世界史上の国境を越える社会運動に焦点を当てながら、歴史をグローバルに学ぶ。

978-4-623-08287-2

由谷裕哉著

近世修験の宗教民俗学的研究

A 5 判 326 頁 7,000 円

岩田書院 [3月刊]

修験者がかかわった柱松行事や、里修験・修正延年などの多様な宗教的活動を考察し、新たな近世修験像を提示する。

978-4-86602-033-4

五十嵐隆明著

京都 永觀堂禪林寺史

A 5 判 525 頁 8,000 円

法藏館 [2月刊]

紅葉や「見返り阿弥陀」で有名な永觀堂禪林寺の創建から現在の姿まで、豊富な史料と逸話とともに語りつくす重厚な一書。

978-4-8318-7711-6

成菩提院史料研究会編

天台談義所 成菩提院の歴史

A 5 判 444 頁 7,000 円

法藏館 [3月刊]

東海道の要所に位置する成菩提院が収蔵する史料群から顕密仏教の知的動向を探り、近世への展開までを描く。

978-4-8318-6239-6

速水 侑著

觀音・地蔵・不動

（読みなおす日本史）

四六判 204 頁 2,200 円

吉川弘文館 [4月刊]

日本人が守り本尊などにしている觀音・地蔵・不動。いかなる動機で信仰が始まり、救いや現世利益を求めて広まったのかを探る。

978-4-642-06762-1

和田幸司著

「土農工商」はどう教えられてきたか

小中学校における近世身分学習の展開

A5判 340頁 5,000円

ミネルヴァ書房 [3月刊]

978-4-623-08086-1

日本史における被差別民はいかなる存在か……
教科書・授業における人権教育の実践と展望。**ピーター・チャップマン著・小澤卓也・立川ジェームズ訳
バナナのグローバル・ヒストリー**

いかにしてユナイテッド・フルーツは世界を席巻したか

四六判 320頁 3,000円

ミネルヴァ書房 [4月刊]

978-4-623-08331-2

バナナが世界に広まっていく歴史的展開について、ユナイテッド・フルーツの盛衰を軸に、グローバル・ヒストリーの視点から描き出す。

津金澤聰廣著

宝塚戦略

小林一三の生活文化論（読みなおす日本史）

四六判 198頁 2,200円

吉川弘文館 [3月刊]

978-4-642-06760-7

武蔵御嶽神社及び御師家古文書学術調査団編

武州御嶽山の史的研究

A5判 264頁 5,400円

岩田書院 [3月刊]

978-4-86602-030-3

阪急・東宝グループの創立者小林一三は鉄道以外の分野にも進出し、宝塚少女歌劇等の文化活動に功績を残した。彼の理想と戦略に迫る。

小畑紘一著

祭礼行事「柱松」の民俗学的研究

A5判 544頁 12,800円

岩田書院 [3月刊]

978-4-86602-028-0

柱松の「柱」は神の依り代か…。全国299地点の調査により分類整理し、その意味を問う。中心となる事例は長野県飯山市小菅。

大河原眞美著

アメリカ史のなかのアーミッシュ

成立の起源から「社会的忌避」をめぐる分裂・分立の歴史まで

四六判 232頁 2,800円

明石書店 [3月刊]

978-4-7503-4635-9

アメリカのアーミッシュの隆盛の歴史をたどる。ドイツ系移民の背景を踏まえたアーミッシュにとっての“もうひとつのアメリカ”。

根本達著

ポスト・アンベードカルの民族誌

現代インドの仏教徒と不可触民解放運動

A5判 350頁 5,000円

法藏館 [3月刊]

978-4-8318-5704-0

1956年、アンベードカルの指導の下、多くの不可触民が仏教へ改宗した。それから半世紀後、インドでの反差別運動の展開を活写した力作。

福原敏男編著

江戸山王祭礼絵巻

絵物・傘鉾・山車・屋台

A4判 108頁 9,000円

岩田書院 [3月刊]

978-4-86602-806-4

18世紀後半と、文化9年、文政7年に描かれた3種の絵巻を全編カラーで収録。関連する一枚番付や祭礼記録も収録し翻刻する。

地理

金田章裕編

景観史と歴史地理学

A5判 422頁 11,000円

吉川弘文館 [3月刊]

978-4-642-04648-0

「景観史」とは、景観がもつ機能や役割をすくい取り歴史的空间を描く学問的営みである。様々なテーマから歴史地理学の可能性に挑む。

雑誌

日本歴史

日本歴史学会編集

4月号（第839）＝3月刊
5月号（第840）＝4月刊A5判 4月号＝130頁、5月号＝130頁
4月号＝741円、5月号＝741円

吉川弘文館 [3・4月刊]

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300円〔税・送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000円〔税・送料込〕

三年間前払い 23,500円〔税・送料込〕

学生・院生一年間 5,000円〔税・送料込〕

重版

長谷川賢二・時枝務・林淳編
修験道史入門

A5判 242頁 2,800円

岩田書院 [2015年9月刊]

若手執筆者により、現時点での研究の水準を整理し、今後の課題を提示。総論編・各論編の全10章構成。必読文献案内20選を付す。

978-4-87294-930-8

歴史書以外の
人文社会図書新刊案内

2018.3・4

明石書店

アルフレッド・シュツツ 他者と日常生活世界の意味を問い合わせた「知の巨人」

ヘルムート・R・ワーグナー著……………四六判 4,500円 3月
<つながり>の現代思想 社会的紐帯をめぐる哲学・政治・精神分析 松本卓也・山本圭著……A5判 2,800円 4月

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
思文閣出版(休会)	https://www.shibunkaku.co.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://www.douseisha.co.jp/
塙書房	http://rr2.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	https://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

歴史書懇話会とは

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在11社が加盟しています。結成以来49年、「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目的達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

〈歴史書懇話会〉の主な事業

◆「歴史書通信」(隔月刊) 最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購読を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

◆「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約90書店で会員社の歴史書40冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は120冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

◆「歴懇リバイバル」復刊書フェアとしてご好評いただいています。

統一復刊・重版事業【歴懇リバイバル】を実施しています。一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、毎回100店近い書店・大学生協で店頭フェアを開催しています。

◆「ホームページ」と「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、【歴史書通信】PDF版などを掲載しています。

メール配信のお申込みは <http://www.hozokan.co.jp/rekikon/> からお願いします。

歴史書懇話会 会員社

明石書店・校倉書房・思文閣出版(休会)・東京堂出版・刀水書房
同成社・塙書房・法藏館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

2018年[歴史書]ベストフェア

►出品／参加書店一覧◀

歴史の深遠へと誘う水先案内人

明石書店

ロシアの歴史を知るための 50 章	下斗米伸夫 編著	2,000 円
イタリアの歴史を知るための 50 章	高橋進・村上義和 編著	2,000 円
イギリスの歴史を知るための 50 章	川成洋 編著	2,000 円
スペインの歴史を知るための 50 章	立石博高・内村俊太 編著	2,000 円

東京堂出版

くずし字解読辞典（普及版）	児玉幸多編	2,200 円
くずし字用例辞典（普及版）	児玉幸多編	5,800 円
日本史年表 増補 5 版	東京学芸大学日本史研究室編	2,700 円
齋藤孝の一気読み！ 日本近現代史	齋藤孝著	1,600 円

刀水書房

魔女と魔女狩り	W. ベーリンガー著／長谷川直子訳	3,500 円
これが歴史だ！	21世紀の歴史学宣言 グルディ＆アーミティージ著／平田雅博・細川道久訳	2,500 円
直良信夫の世界	20世紀最後の博物学者 杉山博久著	2,500 円

同成社

遺跡でたどる邪馬台国論争	中村俊介著	1,900 円
百舌鳥・古市古墳群	一瀬和夫著	1,200 円
物部氏の伝承と史実	前田晴人著	2,300 円
六十の手習い 古文書を読む	山本光正著	1,700 円

塙書房

近代日本・朝鮮とスポーツ	一支記と抵抗、そして協力へー	金 誠著	2,400 円
儀式でうたう やまと歌	一本箇に書き 琴を奏でるー	犬飼 隆著	1,200 円
地蔵信仰	連水 佑著		800 円
八幡信仰	中野幡能著		950 円

法 藏 館

仏教史研究ハンドブック	宗教史学会編	2,800円
近代仏教スタディーズ	大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編	2,300円
京都地蔵盆の歴史	村上紀夫著	2,000円
「天橋立学」への招待	天橋立世界遺産登録可能性検討委員会編	1,500円

山川出版社

新 もういちど読む山川 日本史	五味文彦 / 烏海靖編	1,600円
新 もういちど読む山川 世界史 「世界の歴史」編集委員会編		1,600円
世界史／いま、ここから	小田中直樹 / 帆刈浩之編	2,300円
詳説世界史研究	木村靖二 / 岸本美緒 / 小松久男編	2,500円
詳説日本史研究	佐藤信 / 五味文彦 / 高埜利彦 / 烏海靖編	2,500円

吉川弘文館

牛車で行こう！	京樂真帆子著	1,900円
歴代天皇・年号事典	米田雄介編	1,900円
ここまで変わった日本史教科書	高橋秀樹・三谷芳幸・村瀬信一著	1,800円
日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法	日本史史料研究会監修／苅米一志著	1,700円
タネをまく縄文人	小畑弘己著	1,700円
ステップアップ古文書の読み解き方	天野清文・実松幸男・宮原一郎著	2,400円

2018年歴史書ベストフェア 参加書店一覧

2018年4月1日

北海道	太田市 ブックマンズ アカデミー太田店	野々市市 うつのみや金沢工大前店
釧路市 コーチャンフォー釧路店		
札幌市 北海道大学生協 クラーク店	埼玉県	山梨県
千歳市 文教堂書店千歳店	さいたま市 板山明文堂	都留市 都留文科大学生協
	久喜市 ACADEMIA 菖蒲店	
岩手県	東京都	長野県
紫波郡 本のくずおか	三鷹市 啓文堂書店三鷹店	小諸市 竹澤書店野岸店
	世田谷区 文教堂書店経堂店	伊那市 ニシザワいなっせ店
秋田県	町田市 久美堂小田急町田店	山形村 興文堂i C I T Y
秋田市 スーパーブックス 八橋店		松本市 興文堂平田店
		諏訪市 せいりん堂
山形県	神奈川県	岐阜県
山形市 こまつ書店寿町本店	茅ヶ崎市 長谷川書店 ネスパ茅ヶ崎店	岐阜市 カルコス本店
天童市 八文字屋天童店	平塚市 紀伊國屋書店 東海大学ブックセンター	岐阜市 丸善岐阜店
米沢市 こまつ書店堀川町店		瑞穂市 カルコス穗積店
		大垣市 ACADEMIA大垣店
福島県	新潟県	中津川市 矢野書店
相馬市 文芸堂書店相馬店	上越市 戸田書店上越店	静岡県
会津若松市 西沢書店会津アビオ店	加茂市 番場堂	浜松市 安間書店
茨城県	富山県	愛知県
古河市 セキグチ書店	高岡市 文苑堂書店福田本店	名古屋市 ザ・リブレットイオン 千種店
	高岡市 文苑堂書店新野村店	名古屋市 ザ・リブレット徳重店
群馬県	高岡市 喜久屋書店高岡店	小牧市 カルコス小牧店
吾妻郡 戸田書店中之条店	黒部市 山谷書店黒部店	千種市 らくだ書店本店
桐生市 戸田書店桐生店	富山市 精文堂書店	熱田区 日比野泰文堂
高崎市 戸田書店高崎店	富山市 文苑堂書店藤の木店	
沼田市 戸田書店沼田店		
館林市 聞声堂	石川県	三重県
前橋市 換乎堂	野々市市 うつのみや上林店	津市 青山書店

滋賀県

高島市玉垣芳文堂
彦根市太田書店

奈良市啓林堂書店奈良店
奈良市豊住書店
奈良市たつみ書店サンタウン店

高松市宮脇書店総本店
坂出市宮脇書店坂出白金店

京都府

木津川市宮脇書店木津川店
左京区葵書房
西京区葵書房洛西店
北区佛教大学書籍部

和歌山県

橋本市ツモリ西部店
田辺市多屋孫書店

松山市新丸三書店本店

大阪府

大阪市ジュンク堂書店近鉄
あべのハルカス店
大阪市三栄書房
大阪市西坂書店

鳥取県

米子市杉島書店
出雲市今井書店出雲店

高知市金高堂朝倉
ブックセンター

兵庫県

加古川市宮脇書店加古川店
加西市西村書店
洲本市宮脇書店洲本店
姫路市黒田書店
姫路市大塚書店

広島県

世羅郡ブックセンターアオイ
甲山店

長崎市メトロ書店本店

大分県

大分市ジュンク堂書店大分店

徳島県

徳島市井関書店
徳島市附家書店国府店

宮崎県
都城市田中書店イオンモール都城駅前店
都城市田中書店妻ヶ丘本店

奈良県

奈良市たけだ書店
奈良市新風堂書店
大和郡山市喜久屋書店大和郡山店

香川県

高松市ジュンク堂書店高松店
高松市宮脇書店本店

鹿児島県
鹿児島市ジュンク堂書店鹿児島店

歴史系学会・シンポジウム開催情報

第71回 美術史学会 全国大会

会期=2018年5月18日～20日 会場=東北大大学 川内南キャンパス

◆問合せ(大会事務局)info.taikai71@gmail.com ◆HP=詳細あり

第68回 日本西洋史学会大会

会期=2018年5月19日～20日

会場=19日 JMS アステール・プラザ、20日 広島大学 東千田キャンパス未来創生センター

◆問合せ(大会準備委員会)seiyoshigakkai68@hiroshima@gmail.com ◆HP=詳細あり

2018年度 歴史学研究会 大会

会期=2018年5月26日～27日 会場=早稲田大学 早稲田キャンパス *

◆問合せ(同会事務局) 電話 03-3261-4985 ◆HP=詳細あり

日本考古学協会 第84回(2018年度)総会

会期=2018年5月26日～27日 会場=明治大学 駿河台キャンパス *

◆問合せ(総会実行委員会) 電話 03-3296-4404 ◆HP=詳細あり

社会経済史学会 第87回(2018年度)全国大会

会期=2018年5月26日～27日 会場=大阪大学 豊中キャンパス

◆問合せ(同会事務局) 電話 03-3200-4920 ◆HP=詳細あり

日本文化人類学会 第52回研究大会

会期=2018年6月2日～3日 会場=弘前大学 文京町地区キャンパス

◆問合せ(実施委員会事務局)52nbj@jasca.org ◆HP=詳細あり

2018年度 明治維新史学会 第48回大会

会期=2018年6月9日～10日 会場=駒澤大学 駒沢キャンパス

◆問合せ=大会HP メールフォームより ◆HP=詳細あり

*印の会場では、歴史書懇話会による出張書籍販売がございます。

◆桜が満開。もう春です。私たち歴史書懇話会は月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを開催しております。書店様に少し入れ替わりがありました、現在は次の6書店で開催しています(かっこ内はフェア開始の日付)。◇天童市TENDO 八文字屋(2006年7月～)/◇新潟市紀伊國屋書店新潟店(2007年8月～)/◇松江市今井書店グループセンター店(2008年6月～)/◇大阪市喜久屋書店阿倍野店(2013年11月～)/◇出雲市今井書店出雲店(2014年7月～)/◇名古屋市ジュンク堂書店名古屋ロフト店(2015年6月～)。お近くの方、どうぞお寄り頂き私たちのオススメを覗いてみて下さい。

■ 2004年1月20日創刊のメールマガジン『オルタ』をご存知の方もおいでかと思います。一度も休まず毎月20日に発行、この3月20日には171号でした。「一人ひとりが声をあげて平和を創る メールマガジン『オルタ』」これが、『オルタ』のすべてを言い尽くしています。171号の主題は「公文書改ざんは、為政者の横暴と権力へのおもねりの産物」そして、編集長の加藤宣幸さんは、2月17日急死なさいました。御年93歳。少しだけこのメールマガジンの話をさせて頂きます。

◆14年前の創刊は、同人誌発行人の急死がきっかけでした。文学の同人誌『余白』創刊号の完成を待ちながらの急死。発送準備が出来ていました。(以下、引用)「それは創刊号で終刊号の「戦争・国家・人間」と題する特集でした。この三つの命題は『余白』のタイトルが持つ「静」の響きとは馴染まないが今日を生きる私たちの生き様に深く迫ってきます。一人の人間として生きるとは何かを問いかけてくるのです。／生きるとは、戦争と動乱の世紀から新世紀に入るのを見極めるかのように始まったアフガン・イラク戦争、「帝国」の振る舞いにひたすら追随する〔日本〕政府、政官癒着・既得利権のしがらみで動きのとれない閉塞社会、さらに戦後半世紀かかって築き上げられた「非戦」システムの確実な破壊、などなどに対し沈黙を守ることなのかと。／私たちは市民としての自覚と彼の遺志もくみこみ、小さい声を上げつづけようと決めました……」そうして始まったのが、この『オルタ』でした。◆けれど、今の世界はどんどん、『オルタ』が目指す方向の逆に走り続けているようです。加藤編集長が70代最後の年に頑張り始めたこの雑誌の未来が続くように祈ります。ネットで「メールマガジン・オルタ」と検索してみてください。どうかよろしくお願ひ致します。

■3月14日、あの宇宙物理学者ホーキング博士が亡くなりました。大変な難病と闘いながら人類の遠い未来のために私たちを励まし続けてきた方です。彼は地球が滅亡する前に、全人類の地球脱出を目指していました。今、彼の後継者たちがその実現のために力を尽くしています。世界の権力者たちが欲のために、地球の滅亡を早めています。今ならば未だ間に合うはずです。◆人間の未来を信じて、大切に日々を過ごしてゆきましょう。 (FN)

いま学ぶアイヌ民族の歴史

加藤博文・若園雄志郎編 高校日本史の枠組みを基礎において、古代から現代の時代ごとに、北海道島と先住民族であるアイヌの歴史をまとめた書。

B5判 164頁 本体2000円

中央ユーラシア史研究入門

小松久男・荒川正晴・岡洋樹編

中国からバルガ・ウラル・コーカサスまで広汎な中央ユーラシア地域の研究を、時代・地域別に解説。ソ連解体後、自立をはたした国々の最新の研究成果も満載。参考文献やオンライン情報など基本データを網羅した入門書の決定版。

四六判 420頁 本体3000円

水中遺跡の歴史学

佐藤信編

水中遺跡の調査・研究・保護の現状を解説し、保存や活用など今後の諸課題について考えるとともに、歴史学としての位置付けを探る。

2016年史学会大会シンポジウムをもとに編集。

A5判 260頁 本体4000円



世界史大年表 増補版

石橋秀雄・松浦高嶺・木村靖二他編

人類の発生から今日まで世界史全般にわたり包括的に示した年表。政治史を中心には、経済・社会史関係事項、さらに歴史的意義の大きい文化史項目も可能な限り収録。多数の専門家の協力を得、文献を数多く参照し記述した、信頼しうる内容。検索機能を備えたCD付き。

B5判 832頁 本体30000円

山川出版社70周年企画

①B.C.220年 帝国と世界史の誕生

(第1回配本)

南川高志 編

紀元前220年を中心に、西はローマ帝国およびローマに征服された地中海西部、ヘレニズム諸国家を、東は秦漢帝国を取り上げ、同時代の人が「帝国」という現実にいかに対応したかを考える。



世界史上、時代の潮流のターニングポイントとなつた年代をとりあげ、その意味を問うシリーズ。その当時、各地域の人々がどのように生活し、社会の動きをどのように感じていたのか、世界史の共時性にも重点をおきながら考える。最先端の研究者がとりあげる史料、歴史におけるマクロとミクロの視点の交差が面白い。

四六判 平均300頁 各本体3500円

歴史の転換期

シリーズ
全11巻

木村靖二・岸本美緒・小松久男 II監修

- ② 378年 失われた古代帝国の秩序 南川高志 編
(第2回配本—2018年6月刊行)
- ③ 750年 普遍世界の鼎立 三浦徹 編
- ④ 1187年 巨大信仰圏の出現 千葉敏之 編
- ⑤ 1348年 気候不順と生存危機 千葉敏之 編
- ⑥ 1571年 銀の大流通と国家統合 岸本美緒 編
- ⑦ 1683年 近世世界の変容 島田竜登 編
- ⑧ 1789年 自由を求める時代 島田竜登 編
- ⑨ 1861年 改革と試練の時代 小松久男 編
- ⑩ 1905年 革命のうねりと連帶の夢 小松久男 編
- ⑪ 1919年 現代への模索 木村靖二 編



山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13

電話 03-3293-8131 <https://www.yamakawa.co.jp/>

【価格は税別】

現代語訳 小右記 6 三条天皇の信任

倉本一宏編 長和二年七月（長和三年十二月）（第6回）3000円
眼病を発した三条天皇に対し、道長をはじめとする公卿層は退位を要求。天皇は実資を頼みとするが、養子資平の任官も考へなければならぬ。い実資にとつては悩みの種であった。日記にも緊迫した情勢が記される。

埋葬からみた古墳時代

歴史文化ライブラリー

清家 章著

女性・親族・王権
数多くの古墳群の発掘成果（埋葬施設・副葬品・人骨の性別）から埋葬のルール（埋葬原理）を抽出。古墳時代の親族・女性首長たちの活躍や王位継承のあり方を分析し、「王朝交替論」についても一石を投じる。

1800円

陸軍中野学校と沖縄戦

観音・地蔵・不動

（読みなおす日本史）

速水 侑著

2200円

川満 彰著 知られる少年兵「護郷隊」
激戦地沖縄に潜伏した四名の陸軍中野学校出身者のものとに集められた「護郷隊」の少年兵や住民は戦争にどう巻き込まれたか。元兵士の聞き取り等から、陸軍中野学校がいかに沖縄戦に関与したか描く。

1700円

大好評！ 重版出来

花押・印章図典

吉川弘文館編集部編
瀬野精郎監修

生駒哲郎著 因果応報と悪道 地獄に堕ちる殺生、堕ちない殺生とは？ 因果応報の歴史から中世人の思考を紐解く。（歴史文化ライブラリー）1700円

龍馬暗殺

（歴史文化ライブラリー）桐野作人著
アジア・太平洋戦争期に軍部の注目を集められた花押約200種と、印章約400種を収録、各人物の基本情報も掲載する。

1800円

戦争とトラウマ

中村江里著
不可視化された日本兵の戦争神経症

アジア・太平洋戦争期に軍部の注目を集められた戦争神経症はなぜ長らく忘却されてきたのか。自衛隊のメンタルヘルスへの視座も示す。
事件向から京都政局の対立軸を明らかにする。事件後の政情なども解明し、暗殺の深層に迫る。

4600円

モノと技術の古代史

本器編 中村江里著
角田文衛の古代学 1 後宮と女性 公益財団法人古代学協会編
（第3回）6000円

中世の荘園経営と惣村

鎌倉遺文研究 第41号 宇野隆夫編
（第2回）5000円

交通史研究

第92号 似鳥雄一著
（第3回）6000円
鎌倉遺文研究会編
（第2回）5000円
交通史学会編集
予価2500円

ミュージアム
博物館が
本になつた！



日本の歴史

全5巻

国立歴史民俗博物館編

各1000円
（内容案内呈）

⑤近世 民俗

（既刊）



（続刊）①原始 古代 ②中世 ③近代・現代



吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8

電話03-3813-9151（代表）/FAX 03-3812-3544 /表示価格は税別です

歴史書懇話会

▶会員社名簿◀

明石書店

101-0021 千代田区外神田 6-9-5 〈担当者：深谷直樹〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174

校倉書房

169-0051 新宿区西早稲田 1-1-3
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854

思文閣出版

605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町 355 〈休会〉
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723

東京堂出版

101-0051 千代田区神田神保町 1-17 〈担当者：鈴木 淳〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746

刀水書房

101-0065 千代田区西神田 2-4-1 〈担当者：中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234

同成社

102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 〈担当者：榎 祐典〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466

塙書房

113-0033 文京区本郷 6-8-16 〈担当者：関口守俊〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617

法藏館

600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者：西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458

ミネルヴァ書房

[本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町 2-4-17 大宮第 1 ビル 6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620 〈担当者：須藤 圭〉

山川出版社

101-0047 千代田区内神田 1-13-13 〈担当者：菊池敏彦〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994

吉川弘文館

113-0033 文京区本郷 7-2-8 〈担当者：春山晃宏〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2018年5月1日発行・第237号

発行 歴史書懇話会

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店